

一般社団法人日本体外循環技術医学会
理事長 安野 誠
副理事長 丹木 義和
安全対策委員長 菌田 誠
一般社団法人 日本心臓血管麻酔学会
理事長 岡本 浩嗣
学術委員会 血液凝固管理部門 香取 信之

体外循環の重大事象に関する注意喚起

9月27日に一般社団法人 日本心臓血管麻酔学会より「アンデキサネット アルファの周術期投与に関する注意喚起」が発出され、JaSECTにおいても会員へのメール配信ならびにホームページへの掲載を実施し注意喚起を行いました。

体外循環を実施するためには、適切な抗凝固管理が必要不可欠であり体外循環中の血栓形成は、生命に危険が及ぶような事例の発生が懸念されます。「アンデキサネット アルファ」の投与については注意喚起されておりますが、使用が避けられない状況となった場合にはパーフュージョニストとして対応が必要となります。

➤ 「アンデキサネット アルファ」を体外循環前に投与された患者

ヘパリン抵抗性の報告があり体外循環実施直前の活性化凝固時間（ACT）が各施設で定めている数値を超えていることを継続的に（または定期的に）確認してください。ACTの延長が得られない場合には人工心肺の施行が危険であり心臓外科チームで対応を検討してください。

➤ 「アンデキサネット アルファ」体外循環中に投与された患者

血栓症の報告があり、体外循環中の使用は控え、リザーバーや人工肺の血栓の有無の確認と人工肺の前後の圧力に上昇がないことを確認してください。回路に血栓がある場合には、心臓外科チームで検討し対応してください。また、回路の詰まりが著しい場合には交換の必要性も検討してください。

「アンデキサネット アルファ」使用は、緊急の大血管手術後など止血困難が予想される状況での使用となるため周知して頂きますようお願い申し上げます。

以上